

「健康いわて 21 プラン (第 2 次)」の概要

1 計画に関する基本的事項

- プラン策定の経緯・趣旨
 - ・ 「健康いわて 21 プラン」の計画期間が平成 25 年度をもって終了。
 - ・ 県民一人ひとりが取り組むべき健康課題を明らかにするとともに、社会全体が健康づくりサポーターとして県民の健康を支援し、もって、**県民の健康寿命の延伸を図る。**
- プランの期間

2014 年度 (平成 26 年度) を初年次とし、**2022 年度 (平成 34 年度) を目標年次とする 9 か年計画**
- プランの性格
 - ・ 「**いわて県民計画**」の領域計画であるとともに、**県民が主体的に健康づくりに取り組むための行動指針**
 - ・ 「岩手県保健医療計画」、「第 2 次岩手県がん対策推進計画」等と調和を保つ。

2 県民の健康を取り巻く現状と課題

【現状】・健康寿命が全国で下位

男性 69.43 (全国 43 位) 女性 73.25 (全国 32 位)

【課題】・3 大死因のがん、心疾患、脳卒中予防対策により健康寿命の延伸が必要

【現状】・脳卒中死亡率が全国ワースト 1 位

(脳血管疾患年齢調整死亡率)

男性 70.1 (全国 49.5) 女性 37.1 (全国 26.9)

【課題】・本県の喫緊の健康課題として県民全体が丸くなってワースト 1 からの脱却に向けた取組が必要

【現状】・食塩摂取量は減少傾向であるが、全国との較差が開く

- ・ 1 日の平均歩数は H11 より 1500 歩程度減少し、全国よりも低い

- ・ 喫煙率は男女とも低下しているが、男性は全国より高い

- ・ 成人期の歯周病が増加傾向であり、全国より高い

【課題】・減塩やバランスのとれた食生活の改善が必要

- ・ 歩数の増加や運動習慣の定着が必要

- ・ 生活習慣病の危険因子である喫煙の防止対策の強化が必要

- ・ 健康に対し多面的な影響を与える口腔機能の維持が必要

3 目指す姿と基本的な方向

◎目指す姿

「共に生きるいわて」の実現

☆全体目標

- ・ 健康寿命の延伸
- ・ 脳卒中死亡率全国ワースト 1 からの脱却

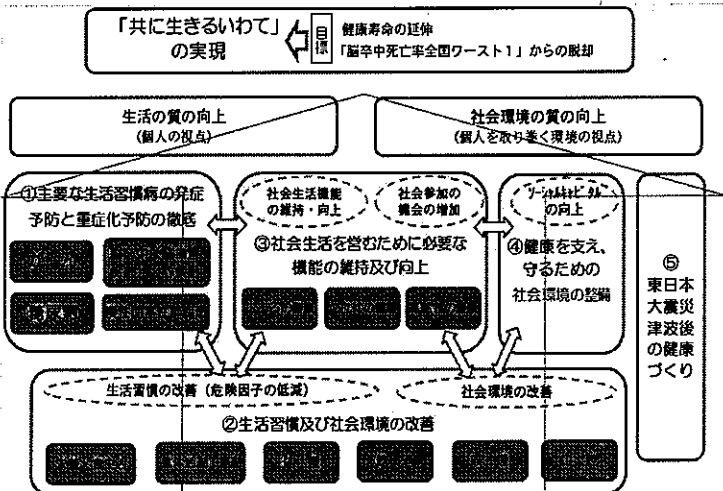
●基本的な方向

- ①脳卒中死亡率全国ワースト 1 からの脱却
- ②主要な生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底
- ③栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善
- ④社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上
- ⑤健康を支え、守るための社会環境の整備
- ⑥東日本大震災津波後の健康づくり

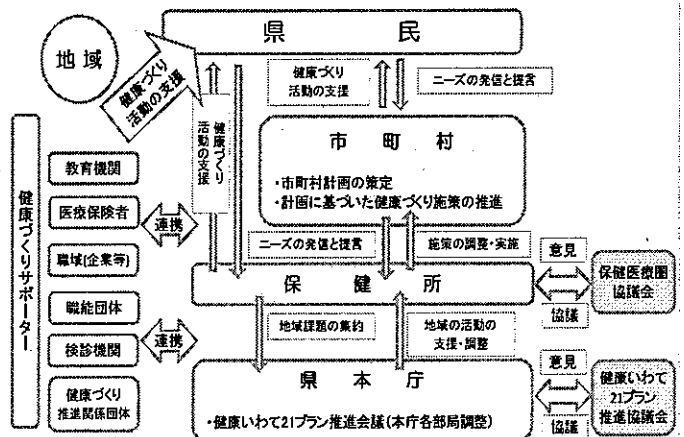
●推進体制

・ 県や市町村を含む県民の健康づくりの支援者を「健康づくりサポーター」と位置付け、健康づくりサポーターが相互に連携を図りながら一体的な健康づくりを推進

【健康いわて 21 プラン (第 2 次) の概念図】



【健康いわて 21 プラン (第 2 次) の推進体制】



4 基本的な方向を実現するための取組と目標

区分	取組	主な目標
目標全体	健康寿命	・平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加
	脳卒中	・脳卒中死亡率全国ワースト1からの脱却 ・脳卒中死亡率の全国との較差の縮小 (脳卒中死亡率=脳血管疾患年齢調整死亡率)
予防の徹底 生活習慣病の発症予防と重症化	がん	・年齢調整死亡率②85.7→72.8 ・がん検診受診率②25.6→36.1→50%
	脳卒中(脳血管疾患)・心疾患	・脳血管疾患年齢調整死亡率 男性②70.1→59.0% 女性②37.1→34.0% ・がん検診受診率②166千人→25%減 ・特定健診受診率②40.7→70% ・特定保健指導実施率②17.4→45%
	糖尿病	・糖尿病有病者②5.24→5.28万人に増加抑制 ・治療継続者②65.5→75.0%
	COPD(慢性閉塞性肺疾患)	・COPDの認知度②37.7→80.0%
健康に関する生活習慣及び社会環境の改善 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙、口腔の	栄養・食生活	・肥満者(20~60歳男性)②32.7→30.0% (40~60歳女性)②27.2→26.0% ・食塩摂取量②11.8→8.0g ・野菜摂取量②316→350g ・外食栄養成分表示登録店②297→1,000店舗
	身体活動・運動	・歩行数 男性②6,951→8,800歩 (20~64歳) 女性②6,449→8,200歩 ・運動習慣者 男性②27.4→38.0% (20~64歳) 女性②14.4→24.0%
	休養	・睡眠による十分な休養の取得 ②長時間労働の減少
	飲酒	・生活習慣病リスクを高める量を飲酒する者 男性②16.1→13.0% 女性②7.5→6.4% ・未成年者、妊婦の飲酒 →0%(なくす)
	喫煙	・成人の喫煙率②18.9→12.0% ・未成年者、妊婦の喫煙 →0%(なくす) ・受動喫煙の機会を有する者 行政機関、医療機関、職場 →0%
	口腔	・3歳児のむし歯②26.5→13.0% ・20・30歳代の歯周病②30.8→25.0% ・40・50歳代の(進行)歯周病②55.4→44.0% ・80歳で20歯以上の歯②21.3→40.0%
向上 必要な機能を維持するために	こころの健康	・自殺者(10万人あたり)②28.3→25.8 ・心理的苦痛を感じている者②11.9→9.4%
	次世代の健康	・朝食を毎日食べる子ども→100%に近づける ・肥満傾向にある子ども→減少傾向へ (②中3男子6.47%、中3女子3.97%など)
	高齢者の健康	・低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者 ②16.1→20.0% ・ロコモティブシンドロームの認知度②21.3→80.0%
健康を支え、守るための社会環境の整備	①地域のつながりの強化 ②健康づくりを目的とした活動への県民の主体的な参画 ③企業の自発的な取組の推進 ④民間団体の健康支援活動の充実	・居住地域でお互いに助け合っていると思う者 ②57.0→73.0% ・健康や医療サービスに関係したボランティア活動をしている者②2.9→25.0%
東日本大震災津波後の健康づくり	①被災者の健康支援の推進 ②新たなコミュニティによる健康づくり ③健診受診率の向上 ④こころのケア、子どものこころのケア ⑤歯科保健活動の推進 ⑥市町村保健センターの復旧(新設) ⑦関係団体等との協体制の整備	・脳血管疾患・心疾患の年齢調整死亡率の低下(再掲) ・がん検診・特定健診受診率の向上(再掲) ・心理的苦痛を感じている者(再掲) ・市町村保健センターの復旧(新設)→4市町村

5 計画の評価

- 岩手県健康いわて21プラン推進協議会等において、毎年度数値目標等を評価・検証し、具体的な施策に反映。
- 2017年度(平成29年度)に中間評価、2022年度(平成34年度)に最終評価を実施。
- 数値目標の評価とともに、プロセスや健康意識、健康行動、健康環境、健康水準などを総合的に評価・分析。

6 「脳卒中死亡率全国ワースト1からの脱却」に向けた取組方針

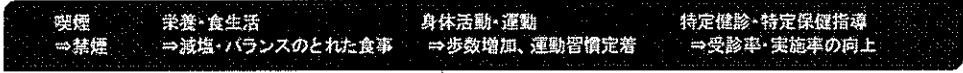
【本県の独自課題】

脳卒中年齢調整死亡率(岩手) H22:男性70.1 女性37.1
(全国) H22:男性49.5 女性26.9

脳卒中死亡率全国ワースト1からの脱却

危険因子

生活習慣



脳卒中対策推進県民会議

三本柱

禁煙

食生活改善

健康運動

健康的な生活習慣の定着

健康意識の向上・県民意識の醸成

具
体
の
取
組

実践活動	食生活改善	<ul style="list-style-type: none"> 「県民減塩運動」、「野菜一皿運動」など、キャッチフレーズに基づく統一的な取組 地域での栄養教室、職場での料理教室、学校等での食育 など
	健康運動	<ul style="list-style-type: none"> 「歩数アップ運動」、「1万歩運動」など、キャッチフレーズに基づく統一的な取組 健康運動教室、ウォーキング大会、職場での手軽な運動 など
	禁煙	<ul style="list-style-type: none"> 「世界禁煙デー」、「禁煙週間」における重点的な取組 禁煙・喫煙防止教室、禁煙指導(医療機関・薬局) など
環境整備	食生活改善	<ul style="list-style-type: none"> 食事バランスガイドの普及、外食栄養成分表示店の拡大 など
	健康運動	<ul style="list-style-type: none"> ウォーキングコース等の整備、運動サークル等の結成 など
	禁煙	<ul style="list-style-type: none"> 禁煙・分煙の飲食店等の拡大、職場や公共的施設での受動喫煙防止対策 など
普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> 県民大会の開催、構成員による一斉行動、家庭への訪問活動 ホームページ等での広報活動、構成員の自主的活動の情報発信 など 	

構
成
員

教育機関

医療保険者

職域
(企業等)

保健医療に関わる
職能団体

検診機関

健康づくり推進
関係団体

県民一体となった取組

健康いわて21プラン（第2次）策定経過

年 月 日	経 過
平成24年11月 ～平成25年3月	○ 県民生活習慣実態調査
平成25年3月11日	○ 平成24年度第2回健康いわて21プラン分析・評価専門委員会 ・ 健康いわて21プランの見直しについて（現行プランの最終評価、次期健康増進計画の見直しの視点、見直しの検討体制及びスケジュール）
平成25年3月19日	○ 平成24年度第2回岩手県健康いわて21プラン推進協議会 ・ 次期健康増進計画の見直しの視点について ・ 健康いわて21プランの見直しについて（現行プランの最終評価、見直しの検討体制及びスケジュール）
平成25年6月6日	○ 平成25年度第1回健康いわて21プラン分析・評価専門委員会 ・ 健康いわて21プランの最終評価について ・ 次期健康いわて21プランの骨子案について
平成25年6月24日	○ 平成25年度第1回健康いわて21プラン口腔保健専門委員会 ・ 健康いわて21プラン口腔保健領域の達成状況について
平成25年7月5日	○ 平成25年度第1回岩手県健康いわて21プラン推進協議会 ・ 健康いわて21プラン最終評価について ・ 健康いわて21プラン（第2次）の骨子案について
平成25年8月27日	○ 平成25年度第1回岩手県被災地健康支援事業運営協議会 ・ 健康いわて21プラン（第2次）について （東日本大震災津波後の健康づくり）
平成25年9月26日	○ 平成25年度第2回健康いわて21プラン分析・評価専門委員会 ・ 健康いわて21プラン（第2次）の構成について ・ 基本的な方向性に係る現状、課題、目標及び施策について
平成25年11月6日	○ 平成25年度第2回健康いわて21プラン口腔保健専門委員会 ・ 健康いわて21プラン（第2次）中間案について
平成25年11月11日	○ 平成25年度第3回健康いわて21プラン分析・評価専門委員会 ・ 健康いわて21プラン（第2次）中間案について
平成25年11月21日	○ 平成25年度第2回岩手県健康いわて21プラン推進協議会 ・ 健康いわて21プラン（第2次）中間案について
平成25年12月20日 ～平成26年1月20日	○ 健康いわて21プラン（第2次）に係るパブリック・コメント ○ 市町村及び関係団体への意見照会
平成25年12月25、26日 平成26年1月8、9日	○ 健康いわて21プラン（第2次）中間案に係る地域説明会 （盛岡市、奥州市、釜石市、久慈市）
平成26年2月5日	○ 平成25年度第4回健康いわて21プラン分析・評価専門委員会 ・ パブリック・コメントの実施結果について ・ 「健康いわて21プラン（第2次）」（最終案）について
平成26年2月7日	○ 岩手県健康いわて21プラン推進会議 ・ 「健康いわて21プラン（第2次）」（最終案）について
平成26年2月14日	○ 平成25年度第3回岩手県健康いわて21プラン推進協議会 ・ 「健康いわて21プラン（第2次）」（最終案）について
平成26年3月	○ 健康いわて21プラン（第2次）策定

岩手県健康いわて21プラン（第2次）について

1 最終案以後の主な調整内容

- (1) 第6章 保健医療圏別計画について
両磐保健医療圏の計画を追加（P136～141）
- (2) 用語解説の掲載
一般には解りにくい25の用語について文末脚注により用語解説を追加した他、参考として補足説明を追加

文末脚注

- P9 「合計特殊出生率」
P11 「年齢調整死亡率」・・・など

補足説明

- P15 「介護保険法制度における要介護・要支援の区分」
P91 「8020（ハチマルニイマル）運動とは」・・・など

- (3) コラムの掲載
県民向けメッセージとして用語解説や、取り組み内容をコラム方式で掲載

- P13 【教えて！「平均寿命」と「健康寿命」】
P69 【「いわて発・適量バランス弁当箱」を活用した事業の推進】
【「栄養成分表示登録店」が県民の方の健康づくりをお手伝い！】
P100 【教えて！「ロコモティブシンドローム」って？】

- (4) 活動事例の写真掲載

- P6 【健康づくりサポーターの活動事例】
P112 【応急仮設住宅集会所での健康相談の様子】
【応急仮設住宅集会所での口腔ケア活動の様子】

2 その他

基準値未設定の現状値把握について

目標項目「メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の割合の増加」（P119、関連P93）

※ 「平成26年度企業・事業所行動調査」の調査項目として実施予定